

質問事項	質問の要旨
<p>1 国保の県統一による町への影響は</p>	<p>宮城県では、市町村の国民健康保険料水準統一に向けた議論が進められており、今年度から納付金のベース統一、令和12年から15年にかけて完全統一を目指しています。国保加入者の多くが高齢者や低所得者、事業者であり、物価高騰が続く中、保険料負担は町民生活へ直接影響する重要な課題です。</p> <p>(1) 保険料の水準統一により、女川町の国保水準は将来的にどのような影響を受けるのか。</p> <p>県内では現在、市町村ごとに保険料水準がありますが、統一によって女川町の加入世帯にとって負担が増えるのか、減る方向なのか町として試算は行っていますか。</p> <p>(2) 高齢化率や医療アクセスなど、都市部とは違う特殊事情などもありますが、県内一律制度で地域の実態が反映されるのか伺います。</p> <p>(3) 県統一後は、市町村独自施策が制限される可能性も懸念されますが、女川町として行っている国保関連の独自支援策、減免制度等は保険料水準統一後も継続できる見通しなのか、伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 国保減免制度の拡充について</p>	<p>近年の物価高騰に加え、エネルギー価格の上昇、生活必需品の値上がりなどにより、住民生活は大きな影響を受けています。特に本町の基幹産業である水産業や関連事業に従事する方々においては、海洋環境の変化や資材価格高騰など、収入面に不安定さを抱える世帯も少なくありません。</p> <p>そのような中、国民健康保険税は、被保険者にとって大きな負担となっており、場合によっては医療機関の受診抑制につながることも懸念されます。</p> <p>国民健康保険制度には、法定軽減制度や災害、失業、収入減少などに対応した減免制度がありますが、制度周知や申請主義により、本来支援を受けられる方が利用できていないケースも考えられます。</p> <p>(1) 本町における国民健康保険税減免制度の利用状況及び相談件数について、近年の推移をどのように把握していますか。</p> <p>(2) 物価高騰や水産業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、収入急減世帯に対する減免制度について、対象要件や運用の柔軟化を検討する考えはありますか。</p> <p>(3) 制度が申請主義であることから、対象とな</p>

質問事項	質問の要旨
3 親水公園の充実と近辺の利用計画	り得る世帯への更なる周知強化や、申請支援
	を行う必要があると考えますが、見解を伺い
	ます。
	(質問の相手：町長、担当課長)
	清水3区にある親水公園ですが当初はきれいに整
	備され落ち着いた景観の良い公園でした。有志の
	方々が低木を植樹したり、インターネットでも利用
	者さんが撮ったきれいな写真もあがったりしていま
	したが、現在は利用者も少なく管理も雑な感じがし
	ています。
	(1) 親水公園をどのような位置づけで管理、整
	備していくのか伺います。
	(2) 親水公園周辺地域の全体利用のイメージは
整理されたのか伺います。	
(3) 低予算でできるドックラン等も造成しつつ	
自然、景観と一体性を持った集客ができる地	
域にしてはどうかと考えますが、見解を伺い	
ます。	
(質問の相手：町長、担当課長)	